

# どこから始めたらいい？という前にできること ー研究者のコミュニケーション事始め

東北大学脳科学グローバルCOE  
広報・コミュニケーション担当  
特任准教授 長神 風二

# Science Communication ?

---

- What?
- Why?
- Who?
- When?
- Where?
- How?

# その前に

## -Self Introduction

大学院で生物物理化学の研究室に在籍

日本科学未来館で展示開発に従事

-大規模国際会議、常設展示、期間展示、巡回大型企画展、  
大型映像、ウェブ記事、シンポジウム、トークセッション、  
サイエンスカフェなど、あらゆる種類の手法を経験

独立行政法人科学技術振興機構で科学コ

ミュニケーションイベントの立ち上げ

-サイエンスアゴラ

大学で広報・コミュニケーション担当

-各種アウトリーチ、プレス対応

# 実例

## -ライブトークScience Edge

@日本科学未来館 04.11~05.12

2か月以内に出版された論文の  
筆頭著者をゲストに  
対談形式で

都合7回開催  
ゲスト探しが難航

# Science Communication ?

---

- What?
- Why?
- Who?
- When?
- Where?
- How?

# Science Communication ?

---

*-What is it all about?*

-Why?

-Who?

-When?

-Where?

-How?

# Science Communication ?

*-What is it all about?*

なにそれ? おいしいの?

-Why?

-Who?

-When?

-Where?

-How?

# Science Communication ?

---

- What?
- Why important?*
  
- Who?
- When?
- Where?
- How?



# Science Communication ?

-What?

-*Why important?*

何か役に立つの？関係ある？

-Who?

-When?

-Where?

-How?

# Science Communication ?

---

-What?

-Why?

-*Who?*

-When?

-Where?

-How?

# Science Communication ?

-What?

-Why?

*-Who? Me? Are you kidding?*

まじ? 俺?

-When?

-Where?

-How?

# Science Communication ?

---

-What?

-Why?

-Who?

*-When should I do it?*

-Where?

-How?

# Science Communication ?

-What?

-Why?

-Who?

*-When should I do it?*

この忙しいのに？

-Where?

-How?

# Science Communication ?

---

- What?
- Why?
- Who?
- When?
- Where?*
  
- How?

# Science Communication ?

---

- What?
- Why?
- Who?
- When?
- Where?*
- How?*

# Science Communication ?

-What?

-Why?

-Who?

-When?

-Where?

-How?

一体、どこでどうやって？



# Science Communication ?

-あなたの研究について社会とコミュニケーションすることは、何がどうあっても大事なことなんだから、自ら、あらゆる機会を使って、実践しなさい。

-評価につながらない、というのは短期的な見方で、コミュニケーション活動がそもそも研究の役に立つのです。

# Science Communication ?

そろそろこういう体のいい詐欺  
(あまりに正しくて反論できないような)  
は、やめよう

# Science Communication ?

- What? やらなくてはならないことを
- Why? それなりに何かに直結するから
- Who? 自分自身の
- When? 日常の中で
- Where? 手の届く範囲で
- How? とりあえずできることから

# Research & Communication

-研究は、  
そもそも、  
コミュニケーション

事実、理論や概念を共有する

# Science Communicationの目的

---

-Science 社会との共有

# 研究者が書くもの

- 計画
- 進捗
- 報告

学会発表  
論文  
総説

これらはAvailable?

# Archive

## -論文

リストを公開の場で作成し、  
最低でもリンクを張り、  
できれば著者最終版を公開  
あるいはOpen Access Option

機関リポジトリなどへ

# Repository

-研究成果

半永久的な公開システム

ない大学？

My Open Archiveなど

あるいは、self-archive



# 閑話休題

---

My Open Archive

# My Open Archive

- 眠っている学術論文や研究成果といった学術情報をウェブ上で流通させるべく立ち上がった非営利(任意)団体

- 2007年9月20日 [My Open Archive](#)サービス開始

- [ボランティア7名](#)で運営



- オープンアクセスの認識と理解を広げる活動[OpenAccessDay](#)に講演  
[OpenAccessWeek.jp](#)を運営  
[OpenAccessWeek.org](#)のPartnerとして[セミナー](#)開催

- [Science Commons](#)と共同プロジェクト進行中(New)

# Self Archive

-個人ウェブ  
機関によらない利点

論文以外？  
プレゼン  
講義資料  
総説  
研究計画・研究報告

# Be Professional

---

-研究について、計画、実行、進捗、報告をdocument化するのはプロとしての研究者の役目

そこから先は？

# Utilize other professionals

---

-記者・ライターはじめ、ほぼすべての職業的なサイエンスコミュニケーターの第一の情報源は、インターネット

彼らを引きよせるコンテンツ？

# Utilize other professionals

---

- 多くのプロジェクトや、機関に  
広報担当が着任
- 大きな大学にはもともと各種プ  
ロが存在

彼らを引きよせるコンテンツ？

# What about public events?

---

- 感覚的なずれを修正する機会
- 人脈を広げる機会

# 終わりに

ご清聴、感謝します。  
話が話で終わらないために  
potential collaborator を求めています。

special thanks to: 坂東慶太(MyOA)

長神 風二  
東北大学脳科学グローバルCOE  
f-nagami@mail.tains.tohoku.ac.jp